



2/24 松橋初市 餅つきや商店街のバザー、特設ステージでの演奏などがありました。



3/17 河江植木市 餅つきや米すくいのほかにも白玉ぜんざいのふるまいなどがありました。



3/3 小川はついち 歩行者天国になった通りには、出店が並び、小川小児童が商品の販売などを手伝っていました。

市内各地で開かれた初市 はえ南風を呼ぶ初市

2月24日、「松橋初市」が松橋駅通り商店街で開催され、訪れた人たちは植木などの買い物を楽しんでいました。3月3日には「小川はついち」が小川町商店街で開かれ、児童考案のランチ販売などがありました。吉元実桜さん(11)は「私たちも商店街のことを知っておかなければいけない」と話しました。17日には「河江植木市」があり、苗木や小川工高の木製品などを買い求める人でにぎわい、老人会などのボランティアが活躍していました。



日本代表として世界と戦いたいと意気込みました

松橋町出身の福島隼斗選手が湘南ベルマーレに入団 サッカー J1で1日でも早い活躍を誓う

2/28 J1湘南に入団した福島隼斗さん(15)が天津高で会見を行いました。福島さんは、U-15日本代表に選出され、中・高の部活動でも守備の要や攻撃の起点として活躍。主将も務め、部をけん引してきました。福島さんは「尊敬する平岡教育長らの教えを守り、プロとして一人前の大人として成長したい」と語り、父母の秀明さんと和美さんは「けがせず、楽しんでほしい」と期待しました。

萩尾児童館で花の寄せ植え 子どもたちが自然と触れ合うきっかけに

2/28 松橋町の萩尾児童館で園児や保護者などが寄せ植えを体験しました。これは、子どもたちに土と親しんでもらおうと花苗などを生産販売している株式会社シンピレッジ=不知火町=が毎年行っている活動。参加者は同社専務取締役の吉村透さん(30)らの指導を受け、マリーゴールドなどを植えました。吉村さんは「植物を通して親子の会話がもっと増えたら」と笑顔を見せました。



花苗の取り出し方を指導する吉村さん(左)



「平成31年 宇城市消防団 出初式」 団員として地域を守る

2/17 市全域の消防団員や幼・少年消防クラブなどが参加し、市消防団(尾崎洋治団長 1,744人)出初式が市役所北側駐車場で開催されました。この日は、分団ごとの分列行進や通常点検などが行われ、日ごろの訓練の成果が披露されていました。小型ポンプを素早く正確に操作し、約18m上空のボールを落とす放水競技では、1チーム5人の選手が力を合わせて見事な連携を見せる度に、会場は大きな拍手に包まれていました。



1 上空のボールを目掛けて放水 2 幼年消防クラブの点検を行う尾崎団長 3 児童たちも一糸乱れぬ動きで通常点検 4 市民を守る消防団員たちの緊張感漂う敬礼

千葉崎勝美さんに宇城広域連合消防本部から感謝状 勇敢な行動で人命救助

2/19 用水路に転落し動けなくなっていた70代男性を救出した千葉崎勝美さん(69)=松橋町=が宇城広域連合消防本部(岩本和也消防長)から表彰を受けました。2月8日、千葉崎さんは用水路に自転車ごと転落している男性を発見。ハンドルに絡まった服を解き、抱きかかえて救出。消防隊に通報しました。千葉崎さんは「必死で行動した。無事の知らせが一番うれしい」と話しました。



「勇気ある行動に感謝する」とたたえられました

「宇城市サッカー三角大会」 技術向上と互いの親睦を目指して

2/23 三角小グラウンドと三角グラウンドを会場に「宇城市サッカー三角大会」が開催されました。これは市内の小学生が参加して行われる大会で、14回目。今年は10チームが参加して、まずは5チームずつによる予選リーグを行いました。決勝では豊川FCと松橋SCが対戦し、0対0のまま延長戦に突入。1点ずつ取り合う好勝負は松橋SCがPK戦を制して見事優勝を果たしました。



キーパーがPK戦で見事にセーブ